

## 学位審査結果報告書

学位申請者氏名 山口撰崇

学位論文題目 Association between dental status and high-risk group of cardiovascular disease in Japanese factory workers aged 55 years and older: A cross-sectional study

審査委員 (主査) 安細敏弘



(副査) 邵 仁浩



(副査) 福原正代



### 学位審査結果の要旨

先行研究において 55 歳以上の高血圧症を有する成人では心血管疾患に発症しやすいことが報告されている。また、40 歳～65 歳の高血圧症を有する労働者では仕事上のストレスにより心血管疾患の発症リスクが上昇しやすいとされている。一方、う蝕、歯周病および歯の喪失が心血管疾患のリスクに関連することも報告されている。そこで、著者らは、55 歳以上の製造業労働者における心血管疾患のリスクと歯科疾患の関連について検証した。調査対象は北九州地区の 55 歳以上の製造業労働者のうち、労働安全衛生法施行規則第 22 条第 3 項に規定される有塩酸、硫酸、硝酸、亜硫酸、フッ化水素、黄りん、歯またはその支持組織に有害な物のガス、蒸気又は粉じんを発生する場所における業務従事者 167 名とした。調査項目は、年齢、勤続歴、性別、教育歴、職場、肥満の有無、喫煙状況、飲酒量、運動習慣、睡眠時間、労働時間等の基本情報および血圧ならびに歯科的項目とした。測定された血圧値から心血管疾患のハイリスク群と非ハイリスク群にグループ分けし、対象者基本情報をもとに算出した傾向スコアによるマッチングを実施した。傾向スコアマッチング条件は許容度±0.3 の 1:1 マッチングとした。傾向スコアマッチングは標準効果量を用いて評価した。その結果、ハイリスク者は非ハイリスク者と比較して、う蝕歯数が有意に多く ( $P < 0.05$ )、処置歯数が有意に少なく ( $P < 0.05$ )、歯周病が重症の傾向 ( $P < 0.05$ ) がみられたが、現在歯数においては有意差は認めなかった。

以上の結果より、55 歳以上の製造業労働者では歯科疾患が心血管疾患を悪化させる因子の一つになる可能性があることが示唆された。

公開審査において、申請者が調査計画の当初から関わり、データ解析ならびに論文作成に貢献していることが確認され、本研究の課題と将来展望に関して申請者からおおむね適切な回答を得た。以上のことから、審査委員会では本研究が学位論文として価値あるものと判断した。